

## 産業文教常任委員長報告

審査日	令和6年12月9日			
出席委員	中村 美穂	堀 真	松林 敏	浦川 圭一
	安部 都	山口 憲一郎	竹中 悟	
説明員	関係所管管理職並びに職員			

### 議案第61号 令和6年度長与町一般会計補正予算（第5号）

#### 【提案理由・主な内容】

建設産業部、産業振興課では、ふるさと長与応援寄附金の令和6年度寄附見込額を、1億9,500万円増額したことによる経費の増額補正として、返礼品の購入費、発送費用、ふるさと納税サイト利用料、委託料を計上。その他農道等補修工事費を増額。

土木管理課の歳入では、企業版ふるさと納税寄附金のうち300万円。中尾城公園のトイレ改修に関する設計業務と、休憩用ベンチの設置工事費に充当する。歳出の町道等維持補修工事費は、自治会や住民の要望、小中学校の通学路要望、これら町道の区画線や安全対策の工事費として増額。

都市計画課では、歳入の急傾斜地崩壊対策事業補助金300万円の増額は、県費の追加配分で、令和4年度より取り組んでいる、嬉里郷古園地区の急傾斜地崩壊対策工事に伴う事業費に充当。土地区画整理事業充当起債8,080万円は、高田南土地区画整理事業の事業費に充当する地方債で、国庫補助金の追加配分、および単独事業費の増額に伴う起債借入額の増額。歳出は、高田南土地区画整理事業の事業費のうち、一般会計の負担分である土地区画整理事業特別会計繰出金を、1億435万8千円増額する。

教育委員会、教育総務課では、次年度に中学校の教科書の改訂を控えることから、債務負担行為補正で、中学校教師用教科書・指導書購入事業の限度額を1,364万4千円とするもの。金額の内訳は、教師用教科書12万8,514円、指導書869万7,150円、デジタル教科書481万8千円。

学校教育課では、産休代替の一般事務補助パート報酬として36万4千円。

生涯学習課では、債務負担行為補正で、町民体育館の空調設備改修工事費のうち、今年度支払い予定額を除いた残額60%相当額を計上。歳入の保健体育費寄附金30万円は、地域スポーツ活動費に対する寄附。企業版ふるさと納税寄附金のうち300万円は、図書館書籍購入費に対する寄附。歳出では、皿山隣接地の民有地における開発工事に伴う発掘調査作業委託料や、寄附金を財源とした地域スポーツ活動のための各種用品の購入と図書の購入の他、町民体育館の空調設備改修費用を計上。

以上の説明があった。

### 【主な質疑】

#### 建設産業部

（産業振興課）

質疑：農道補修工事の転落防止柵の設置の理由は何か。事故があったのか。

答弁：事故は起きていないが、地元から、高低差があり、下がため池で照明もないことから、安全施設を付けてほしいとの要望があったため今回計上した。

（土木管理課）

質疑：企業版ふるさと納税寄附金を活用しての中尾城公園の委託料と工事費の内容は。

答弁：来年度以降スパイラルスライダーに代わる遊具の更新を予定しており、小さな子ども連れが増えることが想定されるため、4カ所あるうち1カ所のトイレにおむつ交換台や幼児用便器等を設置するための設計委託と、工事費についてはウォーキングなどで利用する人も多いことから新たなベンチの設置を考えている。

（都市計画課）

質疑：急傾斜対策工事費が計上されているが、工事費が膨らんでいるのか。進捗状況はどうか。

答弁：事業量は増えていない。令和5年度から7年度までの3カ年で整備する事業で、今回県補助金の追加配分があったため、少しでも早く工事を進めるよう来年度分を先取りした。

#### 教育委員会

（教育総務課）

特記すべき質疑はなかった。

（学校教育課）

特記すべき質疑はなかった。

（生涯学習課）

質疑：町民体育館の空調設備の改修工事は、暑くなる6月頃までには完了していた方がよいと思うが間に合うか。

答弁：工期は3カ月程度と見積もりしているので、今回の補正で計上しなるべく早く終わらせた。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。

## 議案第63号 令和6年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計 補正予算（第2号）

### 【提案理由・主な内容】

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4千万円を追加して、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億5,543万2千円とするもの。歳入では、国庫補助金追加配分に伴う1,435万4千円の増額。それに伴う県補助金358万8千円の増額。一般会計繰入金1億435万8千円は、高田南土地区画整理事業の事業費のうち、一般会計の負担分について、国費、県費の追加配分による調整、および歳出の県事業委託料の増額に伴い、増額するもの。保留地処分金1,770万円の増額は、高田南地区の保留地処分の実績に伴うもの。歳出の1億4千万円は、高田南土地区画整理事業の長崎県への委託料で、主にインフレスライドによる一括施工の契約額の増額に伴う計上。

以上の説明があった。

### 【主な質疑】

質疑：保留地処分金の内容は。

答弁：4宅地販売した中で、1宅地が約1,770万円で落札された。総面積は225平米、坪単価約25万8千円。

質疑：インフレスライドによる増額について、委託先の県との話し合いはどのように行ったのか。また町の要望はどのような形で伝えているのか。

答弁：県との協議は、金額の妥当性について、設計書の確認や資料の提出を求め内容を精査し確認している。増額分については、国費や県費の追加を強く要望し補助金を獲得した。

以上のような質疑が行われ、賛成多数で可決すべきものと決した。